

RD1 解説と全訳例

(1) In 1846, an Irish immigrant in New York named Alexander Stewart opened a business on Broadway called the Marble Dry-Goods Palace, and in so doing gave the world a new phenomenon: the department store.

In 1846				
an Irish immigrant	opened and gave	a business the world	a new phenomenon =the department store	on Broadway
主	どうした	誰に	何を	
in New York named Alexander Stewart		called the Marble Dry-Goods Palace		
in so doing				

- ・ named Alexander Stewart, called the Marble Dry-Goods Palace の-ed は「過去分詞から始まる形容詞」で「～された・・・」。a book written in English と同じ E T 型。
- ・ business とは、ここでは business establishment のことで「店」とか「会社」くらいの意味。
- ・ コロン(:)はイコールと同じで、直後の名詞と同格になる。つまり「新しい現象=デパート」。訳出するときは、「デパートという新しい現象」とか「新しい現象、すなわち（つまり、言い換えると）デパート」とする。
- ・ gave the world a new phenomenon は「世界に新しい現象を与えた」じゃなくて「もたらした」。
- ・ in so doing は「そうしているうちに」が原義。ここでは by doing so と同じで「そうすることによって」。この-ing は「動名詞で名詞」のことシリーズ。in so doing で「前置詞+名詞」。

【全訳例】 1846 年、アレクサンター=スチュアートという名前のニューヨークに住むアイルランド系の移民が、マーブル・ドライグッツ・パレスという名前の店をブロードウェイにオープンした。そして、そうすることによって彼は世界にデパートという新しい現象をもたらした。

(2) **Never before** had a single enterprise tried to bring together such a range of merchandise under one roof.
= A single enterprise had **never before** tried to bring together such a range of merchandise under one roof.

A single enterprise	(had never before tried to) bring together	such a range of merchandise
主	集めた	何を

under one roof

- ・ enterprise は「企業」
- ・ never before は「今までに一度もない」の意味の否定語。これが強調のために文頭に出てくると、残りの部分が「疑問文型の倒置」になる。
- ・ 「否定語 + a single 名詞」の訳出に注意。
 △英語を話せる人はただの一人もいなかった。
Not a single person could speak English.
 △彼はただの一言も僕にしゃべらなかった。
 He **never** said **a single** word to me.
 「ただの一人も英語が話せなかった」でもいいけど、「英語が話せる人などただの一人もいなかった」にする。
- ・ try to ~ (～しようとする) は「～ to」型の助動詞。それが「過去より古い had + 過去分詞」になったのが had tried to ~ (～しようとした)、それに否定語 never before がついて had never before tried to ~ (今までに一度も～しようとしたことがなかった) と長くなった。
- ・ bring together で句動詞。「何を」が人なら「呼び集める」、モノなら「モノを寄せ集める」。
- ・ a range of A で「Aの範囲」または「ある範囲のA」。これは a cup of や a glass of と同じ単位・数量。such a range of A になると「それほどまでの範囲のA」→「そんなに広い範囲のA」になる。

【全訳例】 1つの屋根の下にこれほど広範囲に渡る商品をそろえ集めた企業など、今までにただの1つもなかった。

(3) The business did very well.

The business	did well
主	上手く行った

- ・ この business も business establishment で「店」
- ・ do well で「上手く行く」

【全訳例】 店は非常に上手くいった。

(4) Soon it covered a whole block on Broadway and had a staff of two thousand.

Soon		
it	covered and had	a whole block on Broadway a staff of two thousand
主	どうした	何を

- ・ cover は「カバーする」。ここでは「店がブロードウェイの1ブロックをかばーする」だから「店の建物がブロードウェイの1区画いっぱい広がった」ということ。
- ・ staff は「スタッフ」、つまり「従業員」。of two thousand は「構成要素の of」。

【全訳例】 すぐに店はブロードウェイの1区画いっぱいになり、2000人の従業員を擁(よう)した。

(5) But even that was not enough.

But		
even that	was not	enough
A	≠	B

- ・ not even ~ で「～さえしない」とか「～さえない」で、普通は not even の語順になる。
 △彼女は僕の方を見向きもしなかった。
 She did **not even** look at me.
 △十分な水さえなかった。
 There was **not even** enough water.

でも、この様に主語に even がつくこともある。even は副詞だけど、ここでは形容詞として使われていて「それさえ」の意味になっている。

【全訳例】 でも、それさえ十分ではなかった。

(6) In 1862, Stewart relocated to an eight-story building nearby and named it A.T. Stewart's-Iron Palace.

Stewart	relocated	to an eight-story building / nearby	
	and		
	renamed	it	A.T.Stewart's-Iron Palace
主	改名した	何を	どの様に

- ・ locate は映画の「ロケ」と同じで「場所を決めてそこで撮影する」。映画じゃなければ「場所を決めてそこで住む」とか「商売する」。reがつくと「再」だから「移転する」となる。
- ・ story は「話」じゃなくて「階」の方。同じ「8階建て」でもハイフン(-)で結ばれると単数形になるのに注意。

△このビルは8階建てだ。
This building is 8 **stories**.

これは8階建てのビルだ。
This is an eight-**story** building.

- ・ to は「指さす to」で「前置詞+名詞」で副詞。to an eight-story building で「どこ？」の副詞になる。
- ・ name は「名付ける」。reがつくと「再」だから「再度名付ける」=「改名する」。
- ・ it は the eight-story building

【全訳例】1862年に、スチュワートは近くの8階建てのビルに移転し、そのビルをA.T.スチュアート・キャストアイアン・パレスと改名した。

(7) It was, and for many years would remain, the largest retail operation in the world.

It	was	the largest retail operation	in the world
A	=	B	
	and		
it	(would) remain	the largest retail operation	for many years
A	=	B	

- ・ retail operation で「小売販売業組織」だけど「小売店」が良い。
- ・ and for many years would remain の省略表現に注意。
- ・ A remain B で「AはBのままである」とか「AはBであり続ける」。
- ・ would は一種の強調表現。it **did** remain the largest retail operation と同じ。「しっかり」とか「ちゃんと」と訳出した。

【全訳例】A.T.スチュアート・キャストアイアン・パレスは世界で一番大きな小売店であったし、またその後何年もしっかりそうであり続けた。

(8) Soon after, many other department stores were built, such as Jordan Marsh in Boston and R.H. Macy's in New York.

many other department stores	were	built
A	=	B

such as { Jordan Marsh in Boston
and R.H.Macy's in New York

- ・ A such as B で「BのようなA」

【全訳例】そのすぐ後に、ボストンのジョーダン・マーシュやニューヨークのR. H. メーシーズのような多くのデパートが建てられた。